岩盤ボーリング柱状図

調査名	二級河川瀬野川水系　山王北川外　砂防工事に伴う全体計画書作成業務
事業・工事名	
調査目的及び調査対象	砂防　砂防

ボーリング名	No.M-3	調査位置	広島市安芸区畑賀町水谷川			北緯	34° 24′ 15.9910″
発注機関	広島県西部建設事務所			調査期間	令和2年10月26日～ 令和2年10月30日	東経	132° 32′ 22.6410″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	TP 197.30m	角度	180 上 90 下 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	水平 0° 鉛直 90°
総削孔長	9.00m	使用機種	試錐機	東邦地下工機D0			
			エンジン	ヤンマーディーゼルNS110		ポンプ	東邦地下工機BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	工学的地質区分名(模様)	工学的地質区分名	色調	風化の程度	変質の程度	硬軟	コア形状	割れ目の状態	岩級区分	コア採取率 (%) / 最大コア長 cm / RQD [%]	記事	孔内水位/測定月日
	196.70	0.60		砂質土	褐							(100)	中～粗粒砂が主体となる。草根や木片等を含む。	
1				花崗岩	淡褐	w3	h2	E	VI	d	D	0[0](100)	土砂状の花崗岩礫が主体で、木の根などが混じる。マサ状で一部粘性がある。	
2														
3					～							0[0](100)	強風化した土砂状の花崗岩である。	
4					灰褐							0[0](100)		
5	192.30	5.00										0[0](100)		
	191.80	5.50			黄褐	w3		D	IV	c	CL	0[0](100)	風化が激しいがGL-2.5～5.0mの花崗岩よりも締まった花崗岩である。	
6	191.10	6.20										30[74](100)	短柱状～柱状コアが主体。GL-7.0～7.2m付近にて斜め方向に亀裂が入る。GL-7.9m付近、やや脆い。	10/30 7.17
7					淡灰	w2	h1	B	II	b	CM	19[74](100)		
8	189.20	8.10												
								B	II	b	CH	61[89](100)	柱状のコアが主体で新鮮である。	
9	188.30	9.00												
10														
11														
12														
13														
14														

標準貫入試験

深度	N値	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
1.15	11	11/300		
1.45				
2.15	10	10/300		
2.45				
3.15	14	14/300		
3.45				
4.15	21	21/300		
4.45				
5.15	15	15/300		
5.45				
6.00	50以上	50/60	60	
6.06		60		

深度－N値図

原位置試験　室内試験

削孔月日	削孔速度 (cm/h)	孔径・孔壁保護	コアチューブ・ビット	給圧 (MPa)	回転数 (rpm)	送水圧 (MPa)	削孔水・送水量 (L/min)	排水量 (L/min)
10/28	330	86	打込み／W／DB	0	0	0	W3/0	0
	330			1	50	0	W3/7	0
	144				90			
10/29	120	66	W／DB	1				